スタンフォード・ラッフルズとウィリアム・ファーカー

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

ラッフルズ：書記、総督、建設者

トーマス・スタンフォード・ビングリー・ラッフルズは1781年7月5日、ジャマイカのポート・モラント沖に停泊していた船アン号の船上で生まれました。1795年、14歳でロンドンの東インド会社に書記として入社しています。[1]1805年には、新たに設けられたペナン居留地政府の次官補としてペナンに派遣されました。[2]ペナンで彼はマレー語を学び、マレー世界の歴史と政治を研究し、カルカッタのインド総督ミントー卿との関係を築きました。これが後の経歴への道を開くことになります。

ラッフルズは、19世紀初頭の会社が生み出したある類型に属していました。実務的な統治と、地域の言語、歴史、博物学への強い関心を兼ね備えた学者行政官です。彼は写本や動植物を収集し、ジャワの歴史書を著し、後にロンドン動物学協会を創設しました。[3]マレーの伝統に関する知識によって、彼は前章で述べた14世紀の港シンガプーラの歴史的意義を感じ取っていました。それがこの島を選ぶ一因となりました。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ジャワと行政の教訓

1811年から1816年まで、ラッフルズはジャワの副総督を務めました。ジャワは、ナポレオン戦争中にイギリスがオランダとフランスから奪った地でした。[4]ジャワで彼は大胆な改革を試みました。強制供出を地租に置き換え、現地貴族の権力を削減し、自由貿易を促進したのです。改革は意欲的でしたが、財政的には成功しませんでした。彼の統治は、カルカッタとロンドンからの批判のうちに終わりました。[5]

ジャワでの経験は、彼のシンガポール構想を2つの点で形作りました。第一に、オランダの独占が群島の交易を抑圧しており、自由貿易こそがその潜在力を解き放つという確信を強めました。第二に、交易会社による領域統治の限界を学びました。会社の取締役たちは、あらゆる統治をそのコストで評価したからです。彼が構想したシンガポールは、この両方の問題を回避するものでした。独占のない港であり、広大な領土を統治する負担のない居留地です。

ジャワがオランダに返還された後、ラッフルズはスマトラ西岸にある会社の小拠点ベンクーレンの副総督に任命され、1818年3月に着任しました。[6]ベンクーレンから彼は、オランダの拡張に対する積極策を取るようカルカッタに働きかけました。シンガポールにつながる遠征の委任を得たのは、1818年のカルカッタ訪問の際のことでした。

ファーカー：マラッカを知る駐在官

シンガポールのもう一人の建設者は、ウィリアム・ファーカーです。会社のマドラス軍の将校で、15年にわたりマラッカの最高行政官を務めた人物でした。1803年に大尉に昇進し、1813年12月に正式にマラッカの駐在官兼司令官に任命されました。この職は、1818年9月にオランダが復帰するまで務めています。[7]ファーカーは地域のマレー人首長たちを知り、マレー語を話し、マラッカの商人共同体と緊密な関係を持っていました。その多くが後に彼を追ってシンガポールへ移ることになります。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ファーカーは1819年の遠征にラッフルズとともに参加しました。条約の調印後、彼はシンガポールの初代駐在官兼司令官となりました。彼は、マレー人がブキット・ララガン（禁断の丘）と呼んだ、14世紀の宮廷の跡地である丘にイギリス国旗を掲げました。[8]ラッフルズは条約の数日後に島を離れ、その後は2回しか戻りませんでした。1819年に数週間、1822年から1823年にかけて8か月です。最初の4年間の大半は、ファーカーが一人で居留地を統治しました。

居留地をめぐる2つの構想

2人の関係は、初期シンガポールを特徴づける対立の一つとなりました。ファーカーは最小限の資源で、多くの状況について指示もないまま、実利的に統治しました。歳入を必要とした彼は、賭博のライセンスやアヘンと酒類の販売にそれを求めました。商人たちには、ラッフルズが確保していた土地も含め、空いている場所への建築を認めました。また、当時まだこの地域で行われていた奴隷貿易も黙認しました。[9]1820年5月には、居留地で最初の警察組織を設けています。[10]

ラッフルズは、より野心的で秩序立った構想を抱いていました。1822年10月に戻った彼が目にしたのは、無計画に成長した町と、自らが抑えようとした悪習から歳入の多くを得ている政府でした。彼はファーカーを解任しました。ファーカーは1823年5月1日に正式に罷免され、ジョン・クロファードが後任となりました。[11]ラッフルズは奴隷制と賭博を禁止し、武器の携帯を禁じ、町の規則を定めました。[12]

ラッフルズとファーカーの対立は、単なる個人的な争いにとどまりません。そこには、シンガポールの歴史に繰り返し現れる、商業居留地の統治に関する2つのアプローチが表れています。第一は、実利的で歳入を重視するアプローチです。経済をあるがままに受け入れ、課税できるものに課税します。第二は、計画を重視するアプローチです。設計に従って経済と

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

社会を形作ろうとします。現代のシンガポール国家は、経済上の選択においては実利的で、計画においては意図的という、両者の組み合わせとして描かれてきました。初期の対立は、この組み合わせを予示しています。

注

1. Wikipedia, “Stamford Raffles”（2026年9月閲覧）：1781年7月5日、“on board the ship Ann, off the coast of Port Morant, Jamaica”で誕生。1795年、14歳でロンドンの東インド会社の書記となる。 ↩
2. Wikipedia, “Stamford Raffles”（2026年9月閲覧）：1805年、フィリップ・ダンダス総督の下で次官補としてペナンに派遣。 ↩
3. Wikipedia, “Stamford Raffles”（2026年9月閲覧）：1825年にロンドン動物学協会を創設し、その初代会長（1826年4月選出）となる。 ↩
4. Wikipedia, “Stamford Raffles”（2026年9月閲覧）：1811年から1816年までジャワ副総督。 ↩
5. ジャワにおけるラッフルズの統治、地租制度、そして召還につながった財政難については、C.E. Wurtzburg, *Raffles of the Eastern Isles*, London, Hodder & Stoughton, 1954及びWikipedia, “Stamford Raffles”の記述参照。 ↩
6. Wikipedia, “Stamford Raffles”（2026年9月閲覧）：1818年3月19日にベンクーレンに到着し、3月22日に正式に副総督に任命された。 ↩
7. Wikipedia, “William Farquhar”（2026年9月閲覧）：1803年から1818年までマラッカ駐在官。1813年12月に正式に駐在官兼司令官に任命され、1818年9月のオランダ復帰まで在任。 ↩
8. Wikipedia, “William Farquhar”（2026年9月閲覧）：ブキット・ララガンにおいて“drew up the first gun and set up the post to hoist the Union Jack flag”。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

9. Wikipedia, “Founding years of modern Singapore”（2026年9月閲覧）：ファーカーは歳入を得るために“selling licenses for gambling and the sale of opium”に頼り、“the slave trade”を黙認した。 ↩
10. Wikipedia, “William Farquhar”（2026年9月閲覧）：1820年5月、娘婿フランシス・バーナードを長とするシンガポール初の警察組織を設立。 ↩
11. Wikipedia, “William Farquhar”（2026年9月閲覧）：1823年5月1日に正式に罷免され、ジョン・クロファードが後任となった。ファーカーはその後、罷免に異議を唱えた。 ↩
12. Wikipedia, “Founding years of modern Singapore”（2026年9月閲覧）：ラッフルズは“banned slavery, closed all gambling dens, prohibited the carrying of weapons”。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.